

# かもめ便り

記事紹介

瀬戸中学校との交流会 1面  
 当院の魅力 2-3面  
 Dr.'sエッセイ 4面

社会福祉法人 小渦会 鳴門シーガル病院  
 理事長 並木 俊明

シーガル病院

検索

【ホームページ】 <https://k-seagull.jp/> 【所在地】 徳島県鳴門市瀬戸町堂浦字阿波井57番地 【TEL】 088-688-0011 (代)

## イベント

## 瀬戸中学校との交流会

7月4日に瀬戸中学校1年生と入院患者様との交流会を開催しました。

イベントの1つとして、車椅子の贈呈式を執り行いました。昨年、徳島県教育委員会の起業家育成事業の研究校に選ばれた瀬戸中学校の生徒が地元食材を使った商品開発に取り組み、鳴門鯛を使ったホットドック【鯛ドック】を考案し、徳島市のアミコビル内で販売しました。地域貢献の為にその売上金を使い車椅子を購入し当院へ贈呈してくれる事となり、患者様やスタッフ共々嬉しい気持ちでいっぱいとなりました。大切にに使わせて頂きたいと思えます。生徒のみなさん、ありがとうございます。

交流会では室内ゲームと抽選会を行いました。ゲームの内容は、手作りのワニワニパニックを患者さんと一緒に対戦して楽しみました。参加者はそれぞれ呼んでほしい名前前でゲームを行い、インクルーシブな交流ができたように感じました。中学生を対象にした抽選会でも、嬉しそうに景品を抱えている姿がほほえましかったです。後日、心のもった感想文も頂きましたので、院内の皆さんに見てもらえるよう個人情報に配慮して展示させてもらっています。

5月に予定していた運動会が天候不良の為中止となり、代替行事として企画されましたが、今後も継続して交流ができれば嬉しく思います。



## 紹介

## 鳴門シーガル病院の魅力

当院の魅力について職員を対象にアンケートを実施いたしました。アンケートの結果を「施設としての魅力」と「職場としての魅力」に分けてご紹介いたします。

## 施設としての魅力

## 1 自然が豊かで景観が良い

当院は鳴門の島田島南部にあり、堂浦漁港より当院の専用渡船に乗って約2分で来院できます。このように海と山に囲まれた立地であり自然豊かなことが患者様の療養環境としても適しているという回答が多くありました。(過去にナニコレ珍百景に取り上げられて、広瀬アリスさんに「すごく環境がいいかんじがする。」とコメントをいただきました。)



## 2 患者様を包括的にケアできる

当法人は病院の他にも「救護施設」「クリニック」「グループホーム」「訪問看護ステーション」「多機能型支援事業所」といった施設があります。各施設の関係者が集まって患者様にとって最適なケアについてカンファレンスを行っています。入院中だけでなく、退院後の生活や社会復帰まで幅広いケアを受けることができる同一法人ならではの連携が可能です。



## 3 地域交流を積極的に行っている

当院は社会福祉法人として地域交流を積極的に行っています。地域の皆さまの健康を支えるため、健康相談会や講演会を定期的で開催し、健康管理の理解を深める場を提供しています。また、高齢者の方への配食サービスや、中学生を招待しての運動会など、さまざまな世代がふれあい、支え合う活動を行っています。病院という枠を超え、地域の「健康とつながり」を育む場所として、地域の皆さまに寄り添った取り組みを行っています。



## 職場としての魅力

### 1 休日が多い・残業が少ない

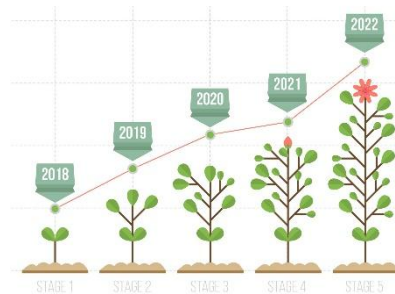
一番多かった回答がこちらです。休日に関しては週休二日制、祝祭日、夏期休暇、年末年始、開院記念日、バースデー休暇などがあり今年を例に挙げると128日程度あります。また、有給の取得がしやすく子育て世帯が働きやすいとの回答も多くありました。

残業に関しては当院が船で出退勤することもあり、ほぼありません。



### 2 職員の育成に力を入れている

私たちの職場では、職員一人ひとりの「学びたい」「成長したい」という意欲を大切にしています。希望する研修には積極的に参加できる体制が整っており、最新の知識やスキルを習得する機会をしっかりと提供しています。また、看護師・准看護師等の資格取得を目指す職員には、奨学金制度を設けており、キャリアアップに向けた学びを経済的にも応援しています。働きながら資格取得を目指す方にとって、安心してチャレンジできる環境です。さらに、日頃の努力や自己研鑽が実を結んだ際には、表彰制度によってその成果をしっかりと評価しています。



### 3 多様な働き方ができる

当院では、多様な働き方が可能です。先ほどご紹介した通り残業がほぼないのでプライベートの時間を大切にできます。

また、条件を満たせば副業も可能なため、収入を増やしたり、新しいことにチャレンジできます。さらに、希望すれば病棟の応援業務に参加し、経験の幅を広げることできます。柔軟で働きやすい環境で職員の成長と充実をサポートしています。



これらの他にも「給食がおいしい」「上司やドクターに話しかけやすい」「歴史ある阿波井神社と隣接している」など、様々な回答を頂きました。ここで書ききれなかった魅力を今後も広報紙でお伝えしていきますので、よろしくお願いいたします。



我ながら良く撮れた写真だと思う。ユリカモメ？が、欄干の上、同じ方向、同じ間隔で並んで留まっている。こちらが、ちょっとでも近寄りすぎると、一斉に飛んで行ってしまうので、なかなか撮れない写真なのだ。それにしても、ユリカモメは、きれいに等間隔に並んでいるが、なんでだろう。

ヒトにはパーソナルスペースというものがある。パーソナルスペースとは、それ以上他人に近付かれると不快に感じる空間のことで、ヒトだと45cm～120cmといわれており、いわば他人との適度な距離のことだ。

もっとも、相手との親密度によって、その距離は変わってくる。すごく親しい間柄だと、ボディタッチできる距離でも不快ではないし、なんなら、近いほど良かったりする。面識のない人とだと、1.2mでは近すぎると感じるかもしれない。親しい（と思っている）人に、あまりにも距離を置かれすぎると、警戒されているのかな、なんだか嫌われちゃったのかな、と心配になってしまう。気になっている人が、すぐ隣に座ってくれと、胸がドキドキするよね。ところで、トリにもパーソナルスペースがあるのだろうか。あると考えると、等間隔に並ぶのも、説明がつくかも

しれない。ユリカモメにとっては、15～20cmくらいが、ちょうど心地よいのかも。他のトリでも同様の現象はある。ハトが電線に留まっているのを見ると、だいたい25～30cmくらいで、等間隔だ。また、公園へ行くと、ハトの集団が、一生懸命クチバシで地面を突いているのを見かけることがあるが、よく見ると、つがいと思いき2羽は距離が近く、一緒に行動している。よその鳩が近寄ると、2羽でサッと避けたりする。親しくなると、距離が縮まるのですね。それにしても、餌やおじさんのせいで、ヒトに慣れすぎてしまったハトが多いこと、多いこと。ハトが向こうの方から足許に近寄ってくると、「大丈夫か？君は」と声をかけなくなる、今日この頃です。

医師 谷口 隆英

## 【編集後記】

まだまだ残暑厳しい気候ですが、少しずつ朝晩は涼しくなってきました。気温差で体調を崩しやすい季節です。体調管理に気を付けていきましょう。

次号(『かもめ便り』第37号)は、2026年1月に発行の予定です。

広報委員会



## 鳴門シーガル病院 交通案内

● JR鳴門駅から「北泊・堂浦行」徳島バスで堂浦(どうのうら)下車(所要時間20分)

● 直営渡船利用 (所要時間2分)

◎ 渡船(無料) 運航時間

午前7時30分から午後5時20分まで

定時運航(10分～30分間隔)しています。

TEL088-688-0011(代)

